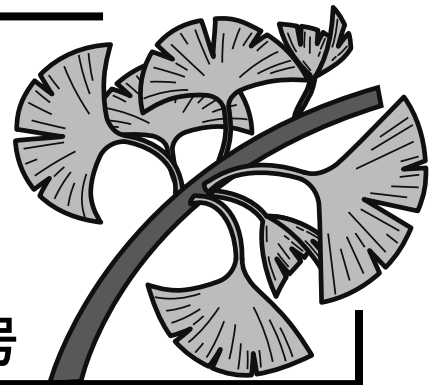


国分寺市議会議員 みな がわ 皆川りうこ

ニュースレター

2002年 秋号



多くの市民の声を受け、 議員定数の削減実現!

国分寺市議会では、4年前に定数を「減らす」ことを望む意見が、議会の半数以上であったにもかかわらず、削減数が一致しなかったため成立せず、平成2年の改正以来「12年間28議席のまま」でした。今議会では、皆川りうこ等の議員により、議案を提案し、これまで据え置かれていた議員定数削減が、実施されることになりました(賛成16/反対11)。

◆市民参加、分権時代に求められる議会そして議員

この10数年で社会が大きく変化し、情報公開・市民参加・ワークショップ・パブリックコメントなど格段に市民が政治に関わる機会が増え、行政の監視も進んでいます。また、NPO等が行政分野に進出してきたことは、誰かにお任せしない市民自治の台頭といえます。さらには、現在市で取り組んでいる「自治基本条例」は、地方分権社会における市民自身が「自治するまちづくり」を目指す第一歩の制度です。

このような時代では、議会や議員の役割も再確認する必要があります。

これまでのような、政党の論理だけが優先される「政党政治」、また逆に一部の利害に拘泥する狭い視野の、

いわゆる「ドブ板政治」のような古い政治体質は見直していくべきでしょう。

市民の声をしっかり聴くことのできる力を持ち、それを政策へと展開することのできる議会であり、議員でなければならぬのです。

議員は数ではなく、質が求められる時代なのです。

◆「現状を変える」選択で、議会改革

今、自治体は行政改革の嵐の中で意識改革や制度改正が急がれています。当然議会でも身を削り改革することが必要です。これまでも議員のボーナスを1か月分減らすなど努力してきました。そこで次には、4年前に実現できなかった、市民に見える形の議会改革として「定数の削減」を実施することであり、一層議員の

資質向上に努めることが、市民の負託に応えることと考えました。

さらに議会は市民が市政に直接参加し、多様な市民の声が反映できる仕組みを作っていくことに最善を尽くすべきです。議案共同提案のため二減(26)ではありましたが、現状から一歩前進です。今後も議会活性・改革にむけ努力して参ります。





市では、市施設の老朽化等の状況を把握したデータベースがなく、優先順位を決めて計画的改修等、管理がされていません。施設の保全・維持という視点で建物の管理をしていないので、緊急措置、対処療法的な修理となります。横浜市では、企画・設計・補修改修費用・取壊し費用までのライフサイクルコストを分析し、適切な施設の維持管理や公共施設の長寿命化へ向けた取組みをしています。「基本方針」を定め、改修の基準など合理的根拠に基づいた施設保全を実施していく予定です。

「今後は、ハコモノ建設ではなく、いまある建物の延命化をするために日頃の予防策が重要なことから、他市の事例など参考に、実態調査を行なう等実施せよ。」との質問で、市は「公共施設のカルテを作り、施設の保全、整備をしたい。プロジェクトチームの設置の検討」との認識に立ちましたが、早期にとりかかる必要があります。また、時代のニーズに合わせた施設機能の転用なども検討課題です。

組織は「ひと」なり



市では今年度、効率的な市の職員研修の検討を実施する予定ですが、今回の質問で、計画的な研修制度がなく、この10年間、研修委員会が開催されていないことが明らかになりました。

そこで、「研修の含めた新たな時代に求められる職員像の方針「人材育成基本方針」の策定をすべき」と求めました。市では、「専門家やコンサルタントを入れて策定したい」との意向でしたが、岐阜県多治見市では、職員自らの手で方針を作り上げています。ぜひ市独自で取り組んで欲しいと主張しました。

一般質問から

「病氣予防効果」「最良のスポーツ」 ＝「歩く」＝「ラン」



「介護予防・健康づくり・生涯学習の視点から「歩く」事業を積極的に進めるべき」として、「市の各部等で実施されているハイキングなどは、歩いた距離・カロリー数・体脂肪との関係など情報も提供し、健康チェックの視点を取り入れるという付加価値をつける」ことの提案をしました。市では、「今回、細かい点での検討も必要と認識し、進めていきたい」とのことでした。「歩く」ことは手軽でお金も使わず、生活習慣病に掛かりにくい、まさに一石二鳥です。とかく縦割りになりがちな市の事業ですが、相互に協力・連携し柔軟な発想で進めて欲しいものです…

民間施設活用により高齢者の参加拡大を



「高齢者の生きがい活動支援の一つとして、民間事業者への協力も得ながら進めること」を提案しました。調布市では、飲食店の協力を得てミニデイを実施しています。夕方の開店前の時間を利用して、食事・カラオケ・大正琴と高齢者の交流、生きがいの場としてとして、多様な事業を行なっています。また、銭湯でも同様に開業前の時間帯に高齢者が集い、軽い体操やお風呂も楽しむデイ銭湯事業も開始されています。どちらの事業も地域のボランティアや、NPOに委託しています。

既に国分寺市内には市民の皆さんが、自主的に食事サービス等ミニデイ事業を展開しています。「今、新たな施設建設による事業拡大ではなく、地域資源の有効活用が重要、調布の例を参考にしたいかがか？」との質問をしたところ、担当は「検討したい」とどまりました。今後、民間事業者への協力は、さらに進めるべきです。

多くの課題が残る給与改正

市の給与制度は、これまで年齢と勤続年数に応じて支払われる、いわゆる「年齢給」が採用されていました。職責や、職務とは無関係の給与制度は時代遅れであり、職員への動機付け（頑張る人が報われる）にも影響を与える制度です。今議会では、これを職務、職責を基本とした新たな給与制度に改正されました。

しかし、「職務給なのに、勤続年数に応じて昇

給する制度が残っている」「調整手当（給与の1割を手当てとして支給）が、10%から12%に上がる」等、多くの課題が残されていることも事実です。

そこで、このような課題を是正する為に、本来の職務給与制度実現のために「附帯決議」を提案し、可決されました。今後とも制度の改善を進めていきたいと思ひます。

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例についての附帯決議

長年の懸案であった職務給制度の導入は、大きな制度改革であり、一定の評価をするものである。しかしながら、今回の議案は職務／職責・実績に応じた給与体系への制度改革というより、残念ながら従来の年齢給の一部を残す形となっている。全職員を5級以上にし、5級到達者で46万円代を最終到達給料とすることを目標に、給料表を設定している。そのため、級別定数管理もせず、長期選考制度、昇任昇格特別昇給制度、7.5%の職務段階別加算などが新設され、今後課題を残した。

たまた、ラスパイレス指数が改善されないまま、調整手当を12%にすることは、新たな課題を生んだといわざるを得ない。

よって、以下の点を指摘し、その是正を求めるものである。

- ①在職20年特別昇給、在職30年特別昇給
- ②退職準備セミナー受講特別昇給
- ③退職時特別昇給
- ④申し出退職者手当支給率適用
- ⑤早期希望退職制度の確立
- ⑥普通退職手当支給率の見直し
- ⑦昇給停止年齢55歳

以上、総務委員会の中でも確認されている点ではあるが、今後の課題として、早急に対応することを求めて決議する。

平成14年9月18日 東京都国分寺市議会

視察、研修報告

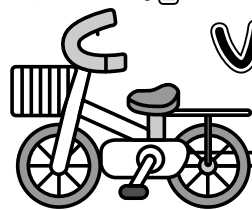
横須賀市



さる8月8、9両日、電子入札で全国的に注目を浴びた横須賀市に行ってきました。行政評価・地図情報システム・電子決済など情報化推進、横須賀市議会の活性化・IT化等についてそれぞれの担当者からお話を伺いました。電子入札ではコスト削減、行政の情報伝達・電子決済により時間短縮など、行政の効率化の面から学ぶべき

点が多々ありました。またその効果の土台として、職員研修の充実があるということも印象的でした。この中のITを活用した行政評価システムは、予算・決算・計画の一体化画面や評価結果はわかりやすい表示になっています。行政評価に現在取り組んでいる国分寺でも、今後参考になる手法ではないかと考えます。

まちの声・こえ・VOICE



市民からの問合せには、感じよく丁寧な対応を

隣の市の道路で自転車に乗っていて、横を走る車をよけようとしたときにバランスを崩し、道路の陥没部分に車輪が入ってしまい転倒してしまいました。

早速、K市役所に問い合わせたのですが、市では「毎日パトロールをしています。細かい場所まではわからないので、教えてもらい助かります。」とのことでした。その後、「陥没したところの、応急処置をした。」と連絡がありました。市の人とは電話での対応でしたが、終始感じがよかったです。果たしてわがまち国分寺ではどうでしょう？

(市内在住 1さん)

活動目録

- 8月 28日 9月定例会開催／本会議
- 30日 一般質問
- 9月 6日 総務委員会
- 10日 議会運営委員会
- 12日 学園跡地周辺整備特別委員会
- 18日 議運／本会議／文教委員会／総務委員会
- 19・20・24日 決算特別委員会(傍聴)
- 21日 テーマ「痴呆性高齢者のグループホームって何？」
至誠ホーム
- 24日 議運／本会議
- 25日 議運
- 27日 「政局展望、日本の政治の構造改革は進むか」
景山日出夫氏 いずみホール
- 30日 議会最終日 本会議
- 10月 1日 議運
- 2日 自治基本条例研修会 佐々木 信夫氏 市役所
- 11日 4小50周年記念式典
- 16日 ウォーキング体験教室
- 25日 国分寺市議員研修
「分権時代これからの地方財政」 新藤 宗幸氏
- 29日 学園跡地周辺整備特別委員会

編・集・後・記

ウォーキング体験教室に参加しました。「バランス」「タイミング」「リズム」がポイントで、正しく「歩く」ことが大事とのこと。是非皆様お勧めです。さて、ニュースレター秋号をお届けすることができました。今後とも皆様のご意見、ご提案などお寄せください。お待ちしております。



現在2期目 皆川りうこ

【ご報告】 私こと、皆川 りうこは、これまで所属していました政治団体「東京及び国分寺生活者ネットワーク」を離れ、6月より無所属として議員活動しておりますことをお伝えします。